

Recent Activities of Gender Equality Promotion Committee in the Physical Society of Japan

The Physical Society of Japan (Hatsumi MORI ·ISSP, the University of Tokyo ·hmori@issp.u-tokyo.ac.jp)

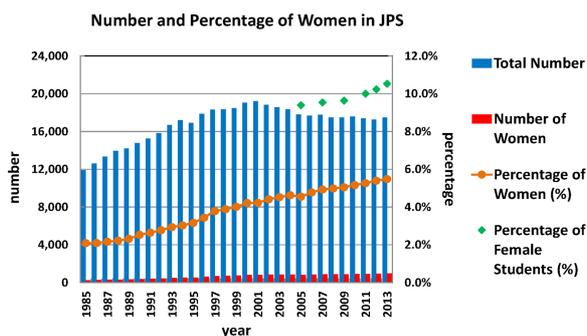
The recent activities of Gender Equality Promotion Committee in the Physical Society of Japan have been reported (<http://k2.sci.u-toyama.ac.jp/triangle/index.html>). (1) As the educational activity to the next generation, the committee members have planned and joined the summer camp for junior-high and high-school girls. (2) As for the international activity, members have joined women in Physics conference in IUPAP. (3) In the annual meeting of the Physical Society of Japan, the symposium of “Raising next generation” has been held.

日本物理学会(JPS)の女性研究者比率は、30年前の2%から緩やかに上昇して、現在5.7%となり、女子学生比率も10.1%と増加している(図1)。しかしながら、理工系が目標とする30%にはまだ遠い状況である。今後さらに、多くの女性研究者が男性研究者と共に活躍し、多様な人材により、物理学がますます発展するよう、2002年に発足した男女共同参画推進委員会が行っている活動を紹介します。

図1 日本物理学会の女性会員数とその割合

活動内容

(1) 次世代教育—女子中高生夏及び春の学



校

国際交流で、韓国物理学会の「女子高校生のためのサイエンスキャンプ」に刺激を受け、日本物理学会の鳥養らの提案により、2005年に「女子中高生夏の学校」がスタートして、10年目となる。2014年度、日本物理学会も、実験「LEDを光らせる」、ポスター、演示実験「手作りエネルギー」

ギー」、女子中高生と留学生の国際交流を行った。(湯浅富久子実行委員長、小田原厚子、中山敦子、山本文子、鳥養映子、長谷川修司、草野佑理、松浦早希)また、春の関西科学塾も支援している。

(2) 国際交流

2014年8月5-9日にカナダのウォータールーで、第5回国際純粋・応用物理学連合(IUPAP)のWomen in Physics会議(52カ国210名余が出席、5件の基調講演、49件の各国報告、100件余りの物理、応用物理学の研究および男女共同参画活動に関するポスター発表)が開催された。3名が参加し、口頭、ポスター発表を行った。(江尻 晶、笹尾真実子、森初果)

(3) 学協会連絡会活動

2012年11月に実施された第3回のアンケート調査の分析結果をもとに政府への提言を学協会で行なった。また、運営委員会、シンポジウムに参加した。(小形正男、伊藤公平、フラナガン ジョン)

(4) 日本物理学会年会シンポジウム開催

2013年度も、シンポジウム「物理における次世代育成—裾野を広げるために」を日本物理教育学会と一緒に開き、「中学校、高等学校における次世代育成への取り組み: 植木 勉(JST理数学習支援センター)」、「物理教員支援のための取り組み—高校物理の授業に役立つ基本実

験講習会ー:兵頭俊夫(高エネ研、日本物理学会
会長)、「日本物理教育学会に見る次世代育成
の実践:高橋憲明(日本物理教育学会会長)」、
「女子中高生への取り組み(夏の学校、関西科
学塾):田島節子(阪大院理)」、「土曜日の物理
学校:ドイツと阪大での次世代育成の取り組み:
藤田佳孝(阪大核物理センター)」を講演いた
だき、パネルディスカッションも行った。(2014 年度
担当:鹿野豊、野尻美保子)

(5) 広報

日本物理学会誌とHP ([http://k2.sci.u-
toyama.ac.jp/triangle/index.html](http://k2.sci.u-toyama.ac.jp/triangle/index.html))に、活動内容を
掲載した。(栗本猛、永宮正治)

JPS 事務局から岡村裕子、宮野佳織、白勢祐次郎が
参画している。